

自然を愛しくらし輝くまち

つなぐ  
つなぐ  
川棚町



長崎県川棚町 町勢要覧  
2015





## CONTENTS

### 1 つなぐ、つながる川棚町

【特集】

### 2 “いま”を輝く川棚町の魅力

- ◎長崎国体 ホッケー競技
- ◎ふるさと応援大使・岩松了氏
- ◎町制施行80周年記念
- ◎川棚育ちの長崎和牛 日本一

【まちづくりの将来像】

### 6 自然を愛しくらし輝くまち

- ①健やかで安心して暮らせるまちづくり
- ②快適で安全な暮らしを支えるまちづくり
- ③豊かな人間性、魅力ある生活文化を育むまちづくり
- ④活力とにぎわいのあるまちづくり
- ⑤住民と行政がともに歩むまちづくり

### 15 議会・行政

### 16 川棚町タウンマップ

### 18 川棚町80年のあゆみ ／数字で見る川棚町

### 20 ようこそ、我が川棚町へ(町長あいさつ)

スマホを  
かざすと

川棚町の紹介動画をご覧  
いただくことができます。



### 「junaio (ジュナイオ)」での動画視聴の手順

- 1 ARを楽しむための無料アプリ「Junaio」をダウンロードしてください。  
※App Store や Google play から「Junaio」を検索して、インストールしてください。
- 2 「junaio」を起動させ、画面右上にある「スキャン」をタップし、  
右にあるQRコード【川棚町】をスキャンして、読み込んでください。  
※読み込まれるまで、しばらくお待ちください。読み込みバーが右端まで完全に読み込まれたら準備は完了です。  
機器や環境によって読み込みに時間がかかる場合があります。Wi-Fi環境で操作することをお勧めします。
- 3 上の「かわたな戦隊クジャマンZ」の写真にスマートフォンをかざすと、  
川棚町の紹介動画が始まります。



【川棚町】

# 長崎がんばらんば国体



## ホッケー競技

### 少年男子・女子

大崎自然公園交流広場で、  
熱い戦いが繰り広げられました。



平成26年10月に開催されました「長崎がんばらんば国体」で、川棚町は大村湾の潮の香りと波の音が心地いい川棚大崎自然公園交流広場を舞台にホッケー競技少年男子・女子を開催しました。秋晴れの中、全国から集まった高校生たちによる迫力あるプレーが繰り広げられました。



# 川棚町の魅力

## 輝く観光

Profile  
岩松了

1952年生まれ、長崎県川棚町出身。長崎県立川棚高等学校卒業。劇作家、演出家、俳優、映画監督。

'89年「蒲団と達磨」で第33回岸田國士戯曲賞、'93年「こわれゆく男」、「鳩を飼う姉妹」で第28回伊國屋演劇賞個人賞、'98年「テレビ・デイズ」で第49回読売文学賞、映画「東京日和」で第21回日本アカデミー賞優秀脚本賞を受賞。

「のだめカンタービレ」や、三木聡作品の常連として「時効警察」など多くの作品に出演。

現在、西日本新聞で「あなたに似た人」(毎月連載)を執筆。お茶の間やスクリーンをはじめ、なじみ深い存在となっている。



# 「川棚町ふるさと応援大使」岩松了氏

川棚町の魅力を広く全国に紹介していただきます。



川棚町は、川棚町出身で、劇作家、演出家、俳優、映画監督として、多岐に渡る才能で幅広く活躍されている岩松了さんを「川棚町ふるさと応援大使」に任命しました。任命式は、平成26年5月17日、川棚町公会堂において、岩松了さん主演「ペコスの母に会いに行く」の上映会とともに行われました。

任命式、上映会ともに大勢の方が来場され大盛況となりました。



## 川棚町町制施行80周年記念 平成26年度に、町制施行80周年という 節目の年を迎えました。

川棚町は、昭和9年11月3日に町制を施行し、平成26年度に町制施行80周年という節目の年を迎えました。

「大崎くじやく園開園50周年くじやく祭り」を皮切りに、「映画ベコロスの母に会いに行く川棚上映会」、「岩松了氏川棚町ふるさと応援大使任命式」、「日フィル&都響アンサンブル公演会」、「桂文枝落語公演会」、「町民大運動会」、「懐かしの映画上映会」

など、様々な記念事業に取り組み、町民の皆さんとともに80周年を祝いました。

また、11月3日、川棚町公会堂において開催しました「川棚町町制施行80周年記念式典」では、町政の発展に貢献された方々の表彰を行いました。また、式典終了後には、フリーアナウンサーの福澤朗氏による記念講演を行い、会場は大いに盛り上がりました。



## 川棚の自然、情熱、歴史に 育まれた「日本一」の和牛

「長崎和牛」のブランドで、  
県内外から高い評価を得ています。

平成24年10月にハウスステンボスをメイン会場に開催された、「和牛オリンピック」こと第10回全国和牛能力共進会において、川棚町の生産者が育てた和牛が「日本一」を獲得しました。「長崎和牛」は、肉本来の旨みを持つ赤身とまろやかな味わいの脂身の絶妙なバランスが特徴です。その「長崎和牛」を使った料理は町内各店舗で味わうことができます。ぜひ、「長崎和牛」をご堪能ください。



# 自然を愛し



本格的な地方分権時代の到来や住民との協働、少子高齢化の急速な進行、住民ニーズの多様化など、地方行政を取り巻く環境は大きく様変わりしています。

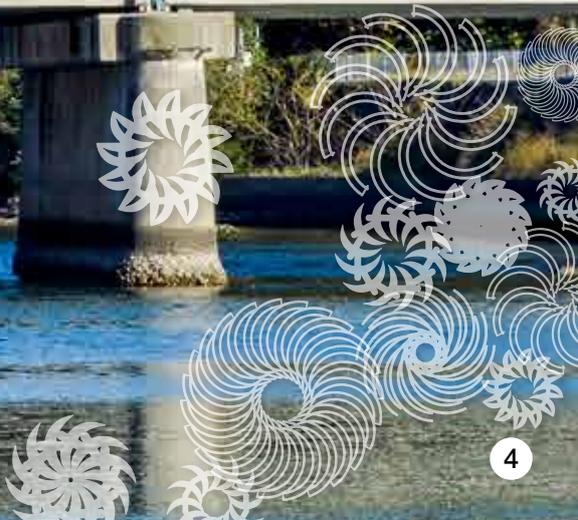
そこで、川棚町では新しい時代の動きに即したまちづくりの実現に向けて、様々な取り組みを進めています。

## 明日へのまちづくりを

美しい自然、伝統ある歴史や文化、充実した交通アクセスなど、川棚町は心豊かな生活、恵まれた環境があると暮らしやすいまちです。

これまでの川棚町のまちづくりは、交通基盤や施設の整備など、快適な住環境の形成をめざして、主にハード面の整備に力を注いできました。その中でも上下水道や住宅環境、公園、緑地などは充実しているとの声も多くいただいています。

ハード面での住環境が整ってきたこれからは、川棚町の豊かな自然や文化などの魅力を活かしながら、それぞれの地域での支え合いや保健・福祉の充実といった、ソフト面の向上に取り組んでいく必要があります。



# くらしし輝くまち

## 明日への想いを託して

### ◎自然を愛し

川棚町が誇る豊かな自然、ふるさとを愛する心を、住民一人ひとりが大切に守り伝えていけるまちづくりをめざして、自然や文化など川棚町の素晴らしい魅力をもっと生かして、今後のまちづくりに十分に生かしていきます。

### ◎くらし輝くまち

ハード面を整備したことで生まれた住み心地のよさに加えて、地域における支え合いや福祉を充実させることで心の豊かさを育み、住民の暮らしがより一層輝くまちをめざします。



◎ 健やかで安心して暮らせるまちづくり

◎ 快適で安全な暮らしを支えるまちづくり

◎ 豊かな人間性、魅力ある生活文化を育むまちづくり

◎ 活力とにぎわいのあるまちづくり

◎ 住民と行政がともに歩むまちづくり





自然を愛し 暮らし輝くまち

# 健やかで安心して暮らせるまちづくり

明るいまちづくりには、住民の健康と快適で安全な暮らしが不可欠です。質の高い様々なサービスを提供できるように支援体制を強化し、住民の健康づくりを推進しています。

## よりよい福祉環境を

行政、住民、関係団体が互いに協力し合うことで、誰もが思いやりを持ち、互いに助け合い、支え合う地域社会の形成をめざしています。

子育て支援については、保育内容の向上や施設の整備に努めるとともに、健全育成のための相談・指導体制の充実を図っています。

高齢者、障がい者（児）福祉については、自立と社会参加をかなえるための支援体制づくりに努めるとともに、生活環境や福祉施設の整備促進、在宅福祉対策や健康づくり、生きがいづくりに努めています。



わんぱくランド



3歳児健診



よりよい保健・医療環境を

すべての住民が健康を保ち、さらに健康になれるように、各種健診や相談活動など、生涯を通じた保健サービスの充実に努めています。

また、安心した生活を送ることができるよう、いつでもすみやかに適切な医療が受けられる医療体制の充実に努めています。



健康かわたな21(じゃがいもの収穫体験)

住民同士が、支え合い、助け合い、みんなが安心して暮らせる地域社会をめざして。



いきいき元気アップ教室



愛育食育フェスティバル



健康診断



生活習慣病予防教室



特別養護老人ホーム くじゃくの家



水中筋力アップ教室



いきがいセンター



養護老人ホーム ひさご荘



自然を愛し 暮らし輝くまち

# 快適で安全な暮らしを支えるまちづくり

日常生活に欠かせない生活道路等、誰もがいつでも快適に生活できるように、さらに整備を進めています。

## 交通と情報ネットワークを快適に

東彼杵郡の中心として、経済や社会活動の発展の礎となる交通基盤や情報通信基盤の整備を計画的に進めています。

主要道路である国道205号の整備をはじめ、住民の利便性向上に向け、道路網の総合的な整備を進めています。

また、JR大村線の利便性向上やバス交通の運行確保、新たな公共交通の検討など、公共交通網の充実に努めています。

さらに、産業の活性化、住民生活の利便性向上のため、光ファイバーによる情報ネットワークを整備しています。

## 住みよい環境づくりを

住民が快適に暮らせるように、上水道施設、公共下水道などの水処理施設の整備を推進するとともに、ごみの減量や再資源化、ごみ処理施設の整備に努めています。



国道205号線



清掃工場



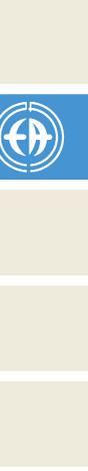
JR川棚駅



川棚浄化センター



町営住宅



また、町営住宅の整備など、住み良い住居環境づくりに努めています。

### 美しい自然環境と景観を

公園や緑地については、スポーツやレクリエーションが楽しめる多目的広場の整備及び地域公園の整備を進めています。

また、豊かな自然や美しい景観を守りながら、環境美化活動の支援や環境保全意識の醸成に努め、環境にやさしいまちづくりを推し進めています。

### 安全と安心のために

住民のかけがえない生命と財産を守り、安心して暮らせるまちづくりを進めるため、災害時の迅速な対応や非常時の情報通信手段の確保などに取り組んでいます。

また、関係機関と連携しながら、交通安全・防犯意識の高揚や各種活動の促進に努め、明るいまちづくりに取り組んでいます。



川棚大崎自然公園交流広場



城山公園



交通安全



川棚大崎自然公園風の広場



消防団

東彼杵エリアの中核を担うまちとして。





自然を愛し 暮らし輝くまち

# 豊かな人間性、魅力ある生活文化を育むまちづくり

まちづくりにおいて欠かせないのは住民の力です。住民の自発的な学習活動を支援し、心豊かでたくましい人づくりを進めています。

## 生涯学習のすすめ

一人ひとりが充実した人生を送れるように、多様な学習機会や学習情報の提供、指導者の育成など、住民の自発的な学習を支援しています。

また、社会教育施設の整備や充実に取り組み、社会教育関係団体と連携して、社会教育活動の環境を整えています。さらに、スポーツ大会や教室の開催、社会体育施設の整備充実を図り、スポーツ・レクリエーション活動の定着に取り組んでいます。

幼児期の教育、学校教育については、家庭や地域、保育園、学校などが手を取り合いながら、地域全体で子どもを育てる環境づくりを進めています。



国際交流事業



ホッケー教室



ハッピースマイルコンサート



青少年文化フェスティバル



町民大運動会



子供会対抗球技大会



また、子どもの個性を伸ばすことができるよう、国際教育や情報教育など、教育内容の充実を図るとともに、豊かな心や健康な体の育成、学校施設の整備、充実に努めています。

### 文化、芸術、交流を生かして

これまで育まれてきた伝統文化の継承や振興によって、川棚町の魅力をさらに向上させるため、さまざまな文化財の保存、活用に努めるとともに、住民の自主的で創造的な文化・芸術活動を支援しています。

さらに、国際感覚豊かな人材育成に向けて、諸外国との交流など、国際交流活動の促進に努めています。

### 人権が尊重される社会へと

人権が尊重される社会の実現に向けて、人権問題を正しく理解、認識できるように、人権教育、啓発等を進めています。

また、男女がともに自らの能力や個性を十分に発揮できる環境づくりを進めています。



川棚くんち(奉納相撲)



祇園祭

一人ひとりが、豊かで充実した人生を、送ることができるように。



海上綱引き大会



夏祭り



文化財



自然を愛し 暮らし輝くまち

# 活力とにぎわいのあるまちづくり

わたしたちの生活を支えている産業。さらなる産業の活性化、自然豊かで魅力ある観光づくりを推進しています。

## 活力ある農林水産業

農業については、農業生産基盤の整備、農業技術指導、支援体制の強化に取り組みとともに、担い手の育成に努め、農業の構造や体質の改善を図っています。

水産業については、獲る漁業からつくり育てる漁業への転換も含め、漁業基盤や流通加工基盤の整備を推し進めるとともに、担い手の育成に努め、安定し活力のある水産業に向けて支援しています。

林業については、山林の育成、森林資源の保全を基本としながら、有効的で適正な利用を図っています。

また、観光客など交流人口を視野に入れた新たな産業振興をめざしています。



いちご



グリーンアスパラガス



小串トマト



畜産業



ハウスみかん



## 活力ある商工業

商業については、商工会と連携しながら、空き店舗対策や後継者育成などに努め、活力のある商店街づくりに取り組んでいます。

工業については、融資制度などの充実に努めるとともに、主要道路等へつながるアクセス道路の整備など、企業立地基盤の整備を進めています。

## 魅力ある観光

恵まれた自然環境や文化・歴史的資源、既存の宿泊・温浴施設など、自然豊かな観光資源を生かし、魅力ある観光基盤づくりに取り組んでいます。



## 安定した生産環境と 産業振興に向けて。





自然を愛し 暮らし輝くまち

# 住民と行政がともに歩むまちづくり

まちづくりの主役である住民がいきいきと活動できるように、まちづくりへの住民参加の機会を増やすとともに、効率的で効果的な行政改革に取り組んでいます。

## 力をあわせて前へと

情報公開の推進や広報・広聴機能を充実させることにより、住民と行政との情報意識の共有化を図っています。また、さまざまなコミュニティ活動への支援を行い、住民と行政が一体となったまちづくりを進めています。

## より効率的に効果的に

多様な行政課題や地方分権の動きにすみやかに対応できる行政運営、健全で計画的な財政運営に努め、効率的で効果的な行財政運営に取り組んでいます。

また、周辺市町などとのつながりをより強くし、広域的な事務事業の充実を図っています。



子ども読書フェスティバル



町内一斉清掃



かわたな歴史探訪





議長 初手 安幸



副議長 村井 達己

## 議会

### 住民の声を行政に届ける

町議会は、選挙によって選ばれた議員（任期は4年）で構成されるもので、住民のみなさんの意思を町政に反映させ、条例の制定・改正・廃止や予算の議決など町政のあり方・進め方などを決定する議決機関です。

現在、川棚町議会議員の定数は条例により16人としていますが、次の選挙（平成27年4月）から14人となるよう条例改正がされています。住民の代表として責任と誇りを持ち、まちづくりへの熱い思いを胸に審議を重ねています。

もっと快適で、住みよいまちに  
そんな住民の声を町政に届け  
まちづくりに反映していきます。

## 快適な暮らしを実現する力強きサポーター集結

## 行政

### 住民の声を町政に生かす

様々な社会情勢が取り巻く  
中、川棚町では、住民のまちづく  
り活動を促進するとともに、行  
政への住民参加・情報の公開・広  
報広聴活動の充実を図り、住民  
と行政が一体となったまちづくり  
を推進しています。

また、住民の多様化する行政  
ニーズに対応し、財政の健全化・  
人材の育成・行政組織の弾力的  
運用などを積極的に推進しなが  
ら、総合的な行財政運営に取り  
組んでいます。

時代の様々な流れを読み  
住民の声を生かしながら、個性  
あるまちづくりを展開します。



町長 山口 文夫



副町長 山口 誠実



教育長 古賀 信雄



役場庁舎



木場浮立

猪乗川内郷

木場郷

石木郷

岩屋郷

虚空蔵山  
(608m)

百津郷

岩屋権現跡と  
岩屋神社毘沙門天左右大臣像

高見岳  
(538m)

百津浮立・  
百津聖観音

小音琴郷  
サルビア保育園

タブノキ

海軍資材倉庫跡  
▲ 至東彼杵町・大村市



# 川棚町 タウンマップ

Kawatana Town Map



佐世保市

# 川棚町

ハウステンボス

東彼杵町

西海市

大村湾

大村市

長崎空港

諫早市

中山郷

西福寺跡の板碑

至波佐見町

小峰城跡

## 徳島古墳の石棺群

奥川内の溜池

川棚川

4

五反田郷

## 七浄寺跡と宝篋印塔群

上組郷

極楽寺跡の六地藏と宝篋印塔群

## 河原城跡

片平城跡

中組郷

みのりこども園

石木小学校

風南城跡

## ナギの大木

白岳 (300m)

長濱大明神宮跡

川棚中学校

川棚小学校

## キリシタン墓碑

## 永仁五輪の塔(郷土資料館)

川棚町役場

新谷郷

長崎慈光園

川棚特別支援学校

下組郷

みつば乳児保育園  
桜が丘特別支援学校

栄町

城山町

川棚純心こども園

川棚警察署

至佐世保市

小串郷

川棚特別支援学校

小串小学校

川棚高校

ひさご荘

川棚駅

平島の古井戸

中央公園  
いきがいセンター

小串郷駅

小串保育園

白石郷

川棚港

大村湾

川棚大崎温泉  
しおさいの湯

小串浦

国民宿舎  
くじゃく荘

くじゃくの家

234

蔵屋敷跡・馬頭観音石像

瀬戸ノ島

立目浦

海神々社

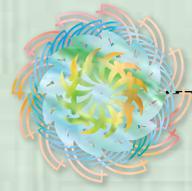
三越郷

大崎半島

長崎県立大村湾自然公園  
大崎くじゃく園

魚雷発射試験場跡

片島



# 川棚町



## 80年の あゆみ



- 1934 昭和9年 11月3日に町制を施行
- 1942 昭和17年 川棚、川棚中部、惣津の3漁業組合が合併し川棚漁業組合となる
- 1943 昭和18年 彼杵町小音琴郷の一部が川棚町に編入
- 川棚海軍工廠開庁
- 県道(牟岐―彼杵)大改修完成
- 1944 昭和19年 魚雷艇訓練所が横須賀から新倉に移転
- 1945 昭和20年 米軍機川棚空襲(死者69名)
- 長崎に原爆投下(川棚でも被爆者の仮収容所を設ける)
- 川棚町婦人会結成
- はじめての町長公選
- 1947 昭和22年 川棚中学校創立
- 川棚町公民館設置
- 警防団が川棚町消防団となる
- 小串郷駅開業
- 1948 昭和23年 川棚農学校が川棚高等学校となる
- 川棚地区交通安全協会結成
- 石木小学校現在地に新築移転
- 1949 昭和24年

- 1969 昭和44年 第24回国体ホッケー競技開催
- 1970 昭和45年 福祉組合のゴミ焼却場火葬場完成
- 大崎海水浴場・教育キャンプ場開設
- 1971 昭和46年 大崎公園が国民休養地に指定される
- 川棚小学校新校舎と給食センター落成
- 1972 昭和47年 3町森林組合が合併、東彼杵郡森林組合として発足
- 1974 昭和49年 郡内5農協を合併し「東彼農協」発足
- 小串小学校新校舎落成
- 1976 昭和51年 防災行政無線運用開始
- 石木小学校新校舎落成
- 1977 昭和52年 小串郷駅に横断歩道橋が架かる
- 1978 昭和53年 中央公園にテニスコート・野球広場完成
- 1979 昭和54年 川棚勤労者体育センター落成
- 1980 昭和55年 特別養護老人ホーム「くじゃくの家」開業
- 川棚中学校新校舎落成
- 1981 昭和56年 川棚中学校体育館落成
- 1983 昭和58年 川棚町中央公民館、勤労青少年ホーム落成
- 1984 昭和59年 町制施行50周年 町民憲章を制定
- 川棚町公会堂落成
- 1989 平成元年 町花にオニユリ、町木にモッコクを制定
- ふるさと創生資金で「悠久の森」制定
- 1991 平成3年 いしがいセンター開設
- 1992 平成4年 オートキャンプ場を大崎に開設
- 1993 平成5年 川棚橋架け替え
- 1994 平成6年 町制施行60周年 大相撲川棚場所開催
- 1996 平成8年 公共下水道供用開始
- 1997 平成9年 川棚川鉄道橋架け替え
- 川棚浄化センター開業
- 1998 平成10年 くじゃく荘新装開業
- 2000 平成12年 川棚大橋架け替え
- 2002 平成14年 川棚町郷土誌発行
- 2003 平成15年 川棚駅前広場落成
- 全国高校総体「長崎ゆめ総体」(ホッケー)競技



# 数字で見る川棚町



人口密度

1km<sup>2</sup>あたり**389**人  
14,542人 / 37.34km<sup>2</sup>  
[H26年12月末]



家族

1世帯あたり**2.6**人  
14,542人 / 5,551世帯  
[H26年12月末]



出生

**3.3日**に1人  
110人 [H26年中(1月~12月)]



死亡

**2.2日**に1人  
164人 [H26年中]



転入

**0.7日**に1人  
513人 [H26年中]



転出

**0.6日**に1人  
583人 [H26年中]



結婚

**7.2日**に1組  
51組 [H26年中]



家の新築

**7.8日**に1軒  
47軒 [H26年中]



交通事故

**5.4日**に1件  
68件 [H26年中]



医師

**364人**に1人  
14,542人 / 40人 [H26年12月末]



火災

**365日**に1件  
1件 [H26年中]



消防団員

**53人**に1人  
14,542人 / 272人 [H26年12月末]



町議会議員

**909人**に1人  
14,542人 / 16人 [H26年12月末]



町の予算

1人あたり**414,155**円  
6,054,952千円 [H25決算]



町税

1人あたり**83,152**円  
1,215,687千円 [H25決算]



町職員

**126人**に1人  
14,542人 / 115人 [H26年12月末]



川棚商工会結成  
1950(昭和25年)  
小串小学校新築落成  
川棚中学校新校舎落成  
町教育委員会を設置  
1952(昭和27年)  
1953(昭和28年)  
1956(昭和31年)  
1957(昭和32年)  
早岐―彼杵間国道205号線となる  
県立川棚高等学校校舎落成  
広報「かわたな」創刊  
役場庁舎落成  
放送塔、慰霊塔落成  
1960(昭和35年)  
1962(昭和37年)  
1963(昭和38年)  
1965(昭和40年)  
1966(昭和41年)  
1968(昭和43年)  
中山郷の中区・下地区が川棚町に編入  
中山郷平野地区の一部が川棚町に編入  
県立光が丘学園完成  
大崎くじやく園開園  
中央公民館、公会堂新築  
大崎半島が大村湾県立自然公園に指定される  
江川橋架け替え  
川棚駅前横断歩道橋が架かる

開催  
2004(平成16年)  
町制施行70周年 ラジオ体操・みんなの体操  
会開催  
2005(平成17年)  
川棚大崎温泉しおさいの湯落成  
2011(平成23年)  
光ロードバンド供用開始  
川棚大崎自然公園交流広場完成  
2012(平成24年)  
養護老人ホームひさご荘落成  
川棚港臨港道路開通  
第10回全国和牛能力共進会で川棚育ちの長崎  
和牛が日本一獲得  
2013(平成25年)  
防災行政無線(同報系デジタル)整備工事完成  
2014(平成26年)  
町制施行80周年  
くじやく園開園50周年  
岩松了氏を川棚町ふるさと応援大使に任命  
長崎がんばらんば国体(第69回国体)ホッケー  
競技少年男女開催

## 町民憲章

わたしたちの町川棚は、高い自然環境  
の姿と豊かな川棚川の清流にはぐくまれ  
先人たちの努力により、発展してきました  
わたしたちは、このふるさとを愛し、さらに  
よりよい町づくりのために町制施行五十周年  
を記念して、ここに町民憲章を定め、ます

わたしたちは、恵まれた自然をまもり住まい  
町をまもり、ます

わたしたちは、勤労を愛し、豊かさをまもり、ます

わたしたちは、老人をまもり、こどもをまもり、ます

わたしたちは、健康と教育を高め、ゆとりのある  
町をつくり、ます

わたしたちは、隣人愛を育み、つらみのある  
町をつくり、ます

昭和五十九年十月三十一日制定



# ようこそ、我が川棚町へ

スマホをかざすと

川棚町長のメッセージ動画  
をご覧いただくことが  
できます。



※イメージ

Mayor's Greeting



川棚町長 山口 文夫



## 「junaio」での動画視聴の手順

- 1 ARを楽しむための無料アプリ「Junaio」をダウンロードしてください。  
※App Store や Google play から「Junaio」を検索して、インストールしてください。
- 2 「junaio」を起動させ、画面右上にある「スキャン」をタップし、  
左にあるQRコード【川棚町】をスキャンして、読み込んでください。  
※読み込まれるまで、しばらくお待ちください。読み込みバーが右端まで完全に読み込まれたら準備は完了です。  
機器や環境によって読み込みに時間がかかる場合があります。Wi-Fi環境で操作することをお勧めします。
- 3 右の「川棚町長」の写真にスマートフォンをかざすと、動画が始まります。



【川棚町】

## 長崎県 川棚町

位置 東経 129度51分40秒

北緯 33度04分22秒

面積 37.34km<sup>2</sup>

人口 14,542人(平成26年12月末現在・住民基本台帳)



### 発刊にあたって

川棚町は、長崎県のほぼ中央に位置し、波静かな大村湾に面した温暖な地です。

面積は37.34km<sup>2</sup>で東西に長く、東には標高608mの秀峰・虚空蔵山がそびえ、これを源とする石木川が美しい川棚川と合流し、まちの中央部を流れながら大村湾に注いでいます。その清らかな流れと豊富な水量は、緑深い山々や美しい海と調和し、長い歴史のなかで人々の生活を支え、暮らしに潤いを与えてきました。

西には大村湾に大きく突き出た大崎半島があり、付近に小島が点在して屈曲に富み、県立自然公園に指定された風光明媚なところ です。

このように自然環境に恵まれた本町は昭和9年に町制を施行して以来、大きな発展をとげてまいりました。これもひとえに先人の皆様及び町民皆様の御尽力の賜によるものであります。

これからも、川棚町が本来持っている自然や文化などの魅力を活かしつつ、地域における支え合いや、福祉の充実などに取り組み、本町が目指す「自然を愛しくらし輝くまち」の実現に向け、町民の皆様とともに、町政発展のため全力で取り組んでまいります。

本要覧は川棚町の現在の姿、これからのまちづくりを紹介したものです。本誌を通じ、本町により一層の親しみを持っていただければ幸いです。



### 町章

カ・ワ・タ・ナの文字を町民の融和と団結を願って丸く図案化したものです。



### 町花 オニユリ

町内に広く自生。生命力が強く、7月から8月にかけてくれないの花を咲かせます。花言葉は「富と誇り」。



### 町木 モッコク

町内の山林全域に自生。常緑樹で葉に光沢があり、夏には白色五弁の花を咲かせます。

## 川棚町町勢要覧

Kawatana Town Profile Book

発行年月：平成27年3月

企画編集：長崎県川棚町企画財政課

〒859-3692 長崎県東彼杵郡川棚町中組郷1518-1

TEL.0956-82-3131 FAX.0956-82-3134



華やかな“風車”のような図案は、町章を構成している“カ・ワ・タ・ナ”の文字によって作られています。時の流れに花開くオニユリのように、また川棚川の水面にきらめく波紋のように、町民の融和と団結への願いを込めた「つなぐ つながる 川棚町」という、本誌の編集方針を表現したものです。